

News Release

2019年3月25日
日立キャピタル株式会社

日本政策投資銀行による「環境格付融資」のお知らせ 「環境格付」最高ランクを6年連続で取得

日立キャピタル株式会社(執行役社長兼CEO:川部 誠治/以下、当社)は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:渡辺 一/以下、DBJ)が実施する「DBJ環境格付*1」において「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を6年連続で取得し、本日、環境格付融資を受けましたので、お知らせします。

当社は、社会インフラや環境・エネルギーなどを伸ばす成長分野と位置付け、日立グループをはじめとしたパートナーとの連携強化により、社会の変化や多様化するお客様のニーズに合わせたソリューションを提供しています。環境・エネルギー分野では、風力や太陽光などの発電設備のリースにとどまらず、グループ会社を通じて発電事業を行っています。また昨年より、ながいも残渣を活用したバイオガス発電事業に参画する等、低炭素社会のみならず資源循環型社会の実現への貢献をめざしています。今回のDBJによる環境格付融資は、当社とDBJの業務協力協定に基づく取り組みの一環であり、当社が注力する環境・エネルギー分野での活用を予定しています。

なお、「『DBJ環境格付』において高い評価を受けたポイント」と「当社とDBJの業務協力協定」は、以下のとおりです。

■「DBJ環境格付」において高い評価を受けたポイント

- (1) 経営方針に「社会価値創造企業」を掲げ、社会課題の解決に資する次世代サービスの創出への注力を通じて、持続可能な社会の構築に貢献している点。
- (2) 「2016～2018年度 中期経営計画」において、環境・エネルギー事業を注力分野に位置付け、風力や太陽光等の再生可能エネルギーの機器リースや発電事業、ESCO事業*2へのファイナンスサービス等を通じて、顧客や社会全体の環境負荷低減に貢献している点。
- (3) 持続的な事業成長を支える人的資本の高度化に向けて、専門知識の向上やグローバル人材の育成を推進するとともに、社員の成長が組織の成長につながるグッドサイクルの創出をめざした働き方改革「SKYプロジェクト」に取り組む等、経営基盤の強化に努めている点。

■当社とDBJの業務協力協定

当社とDBJは、2015年3月に、両社が強みを有するインフラ、環境、エネルギー、ヘルスケア及び地域等の分野において、情報やナレッジの共有や、メザニン、投資等のリスクマネー、中長期融資及びリース等の金融サービス提供も含めた業務協力協定を締結しています。

当社は、地球環境を考え、社会の発展と人々の豊かなくらしを実現するため新しい価値を創造し提供する「社会価値創造企業」として、SDGs*3を基点とした事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

- *1 DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により企業の環境経営を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて3段階の適用金利を選定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニュー。
- *2 Energy Service Company。省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、お客様の省エネルギー効果(メリット)の一部を報酬として受け取る、お客様の利益と地球環境の保全に貢献する事業。
- *3 Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)。2015年、「国連持続可能な開発サミット」において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」として採択された、17の目標と169のターゲットからなるもの。

■報道機関お問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当: 関、宮崎]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 03-3503-2118 (直通)

以上